

3学年だより

NO 592

飛翔

令和3年2月18日



小田原市立城山中学校  
学年主任 水野喜代治

## 卒業式の心の準備…ステージでの授与式

昨日から、卒業式に向けての練習や準備が始まりました。卒業生が座るパイプ椅子を準備しました。体育館中にある一番綺麗な茶色のパイプ椅子をステージの下の倉庫からみんなで取り出しました。この椅子は、卒業生が毎年座る椅子です。意識せずに一生懸命に準備している3年生の姿を見てると感慨深い気持ちになりました。あと、15日登校すると卒業式。

緊急事態宣言下の今、例年と同じ形で卒業式は実施できません。密を防ぐために、下級生は出席することができません。部活動、委員会など色々な場面で、下級生の面倒を見てきた君たちにとっては、とても寂しいことだと思います。下級生も3年生を卒業式という正式な場で祝福できないということは悲しいと思います。お家の方も2名までの制限となっています。お父さん、お母さん、おばあちゃん、おじいちゃん、というように家族みんなで参列することはできません。また、式そのものも、短縮しなければなりません。祝辞やお祝いの言葉も控えてもらい少なくなってしまうです。そして、なによりも、みんなの感謝の気持ちを込めたお別れの歌も10分程度の時間しか保障できません。このように、コロナ禍の卒業式はいくつもの安全対策という制限の中で実施されます。

しかし、君たちを祝福する、保護者の方々、先生方、在校生、地域の方々、の気持ちは例年と何も変わりはありません。君たちの感謝の気持ちも例年の卒業生となんら変わることはないと思います。卒業式の実施の仕方は変わっても、そこに集う人の気持ちは何も変わってはいないのです。約1時間の卒業式のメインは卒業証書授与です。コロナ禍で色々なことが制限されて省略されてしまった時間を授与の時間にあてたいと思っています。一人ひとりが卒業証書を授与する瞬間を大事にして、ステージで卒業証書授与を行うことにしてもらいました。参列している先生方やお家の方に感謝の気持ちを込めて、立派に卒業証書を受け取ってください。ウルトラ学年と言われた君たちの卒業証書授与の姿に、すべての人が感動すると思います。なぜなら、家族の方に、友達に、先生方に、地域の方に、今までかかわった人に、感謝の気持ちをもってステージに上られるからです。黄色学年の君たちの想いが体育館中に広がると 생각합니다。あと、15日！みんなで、卒業式を作り上げましょう。